

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	南箕輪村療育施設たけのご園		
○保護者評価実施期間	8年 1月 26日		8年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	8年 1月26日		8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サーキット場が充実している。	サーキットを有効的に(親子通児、平行通児に応じて内容を変えるなど)使えるように療育活動を考えている。	サーキットでは一人ひとりの感覚統合を図り、療育につなげていくようにする。
2	専門職の個別訓練、個別相談ができる。子どもへの評価や専門性について更なる充実が期待される。	専門職の個別訓練、相談のカンファレンスがあることで、多くのことを知ったり、学ぶことができる。	療育を行うための専門知識を増やしながら実際の療育に取り入れるようにしていく。
3	保育園在籍の子どもが併行通園児として多く来所している。開所時間は保育園と同じで、月曜日～金曜日まですべて開いている。利用するお子さんも増加している。	在園の保育園の担任や支援保育士と一緒にたけのご園で過ごし、子どもの姿や支援の共有を行えるように考えている。	保育園の支援保育士等がたけのご園に来る機会が増えて、子どものために必要な支援の共有を図ってきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置の問題点	支援を必要としているお子さんやご家族のニーズにこたえたいが、職員体制により難しい所があった。	発達に課題のあるお子さんが必要な日数通えるように職員配置の中で連携や工夫をしながら進めていくことが必要だと思う。
2	併行通園を月曜日～金曜日に広げて、利用者も多くなり、その分職員の支援会議(子どもの在園している保育園での会議など)出向く会議、園内での支援もあり現場職員の仕事が多くなった。療育の打ち合わせなどのタイミングが難しいことが課題となっている。	併行通園を利用するお子さんが増えると共に支援会議の数も増えるので職員がそろって毎日の療育の見直しや次の日の療育の計画をたてるのが難しい日も増えている。	支援会議を行う日のある程度曜日を決めて行ってみる。相談支援事業所の協力と保護者への理解も必要と考えている。
3			